

第 198 回 日本知能情報ファジィ学会理事会議事録

日時：2014 年 4 月 12 日（土） 13:30～19:30

場所：関西大学千里山キャンパス 学術フロンティアセンター 2 階会議室

（〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3 丁目 3 番 35 号）

出席者：馬野（会長）、林（副会長）、中嶋（副会長）、秋山（賞選考）、乾口（将来構想）、井上（会計）、工藤（大会事業）、関（広報）、徳丸（事業）、星野（電子化検討）、前田（庶務、会誌）、安信（会計監事）、和多田（事業監事）

欠席者：佐藤（他学会連携）、三河（オブザーバ：編集委員長）

1. 前回議事録の承認（資料 198-0）

第 197 回理事会の議事録の確認を行い、承認された。

2. 理事会メーリングリスト報告済事項の確認

理事会メーリングリストで既に報告されている以下の事項の確認および報告がなされた。

(1) 総会案内の学会誌会告およびホームページへの掲載について（前田、関）（資料 198-1）

- ・前田理事より、6 月の総会案内を学会誌 4 月号と学会ホームページに掲載したことが報告された。総会資料については、総会までの期間に理事会サーバ（Dropbox）に最新版を各自アップしてもらい、理事が随時確認することになった。
- ・総会資料は、6 月 2 日以降に学会ホームページで公開することを明示したので、5 月 31 日の次回理事会で最終審議し、その結果を反映して 6 月 1 日の 17 時までに関理事がサーバの最終版を学会ホームページにアップすることになった。ホームページへの資料のアップは昨年度の方式と同様に、各報告・計画のファイルごとにリンクを張って PDF を閲覧できるようにする。

(2) 総会における立哨誘導員の配置について（前田）（資料 198-2）

- ・前田理事より、総会時にビルの 1 F に学生アルバイトによる立哨誘導員を依頼する必要があることが提案され、承認された。うめきたナレッジセンターの立哨誘導員は、あらかじめ管理事務所に許可を得て、当日は定められた腕章を身に付ける必要があるため、申請を行っている。誘導員の立哨時間は総会（13:30-14:30）の開始 1 時間前（12:30）～開始 30 分後（14:00）と、評議会（15:00-15:30）の開始 1 時間前（14:00）～開始 30 分後（15:30）の合計 3 時間依頼することになった。

(3) アンケート集計結果について（乾口）（資料 198-3）

- ・乾口理事から、SOFT アンケートの集計結果について約 100 名から回答があったことが報告された。アンケート回答は概ね、理事会方針に賛同意見が多かった。本結果は、総会資料にも含めて公開することになった。
- ・誤字脱字や人名の間違いも多かったが、公開の際には原文を尊重し、回答に書かれていたとおりにそのまま掲載することになった。
- ・総会の席では、今回のアンケート結果をまとめて整理したグラフを用いて乾口理事が説明することになった。質問用には詳しい資料も用意する。

(4) SOFT CR の現状報告について（関）（資料 198-4：当日配布）

- ・関理事より、SOFT CR の利用規約と学会プライバシーポリシーについての現状報告があった。ソフトウェアツール契約書の作成については、弁護士に相談したところ 15 万円程度～上限 20 万円との試算であるとの報告があった。税金は内税か外税か不明であるため、再度打診することになった。契約書の作成は依頼から約 1 ヶ月後に最終稿が完成できることも報告された。
- ・個人情報の取り扱いについても学会プライバシーポリシーが必要であることが指摘された。現在、

学会としてはプライバシーポリシーが存在しないため、SNSのプライバシーポリシーを参考に同時に作成してもらうことになった。これらをすべて合わせても20万円以内で作成可能であることが報告された。

- 本件は学会全体に関わる事項を含んでいるので、費用を準備するのは広報委員会ではなく、本部で行うことになった。今後、弁護士事務所の相見積もりをとる必要があることも指摘された。

3. 理事会メーリングリスト審議済事項の確認

理事会メーリングリストで既に審議されている以下の事項の確認と審議がなされた。

(1) カラーチップスのサーバ費用とシステム改修の見積りについて（星野）（資料198-5）

- 星野理事より、SNSサーバの契約見直しについて報告があった。現在、カラーチップスに管理を依頼しておりSNSサーバは定期的バックアップなしで契約中であり、カラーチップス社内のローカルバックアップはやっているが、ユーザの不正使用による問題が発生した場合には責任を取らない仕様となっている。サーバ保守費のみに比べて、定期バックアップサービスを加えると20万円近くアップすることも報告された。これらの費用とは別にSNS運用費用もかかっている。
- 星野理事より、メール転送サービスは現状のままにしておき、j-soft.orgのメールをgmail側で転送先を振り分けてはどうかとの提案がなされた。
- また関理事より、SOFT CRのメール転送先をSOFT-CR@j-soft.orgで追加変更依頼することになった。その他についても見直す必要があるが、編集委員会関連のメールアドレスが多いので、三河編集委員長にも聞いてみる必要があることが指摘された。

(2) 理事会だよりについて（馬野）（資料198-6）

- 馬野会長から学会誌6月号から掲載予定の理事会だよりについて説明があった。毎回1ページ程度で各理事に交代で執筆を依頼予定とのこと。初回の執筆依頼は次回理事会では間に合わないので、馬野会長が担当理事を決めてローカルに執筆依頼することになった。

(3) 日本学術振興会育志賞の推薦について（前田）（資料198-7）

- 前田理事から、事務局より表記の賞（博士課程在籍学生に限る）の推薦について問い合わせがあったことが報告された。これについて、推薦文は指導教員が記載することになっているので、学会メーリングリストに事務局から情報を流してもらい、申請するかどうかは指導教員（学会員）に任せることになった。
- これに関連して事務局に、学生会員で現在博士後期課程在籍中の学生をリストアップしてもらうよう依頼することになった。

(4) 本部の事業報告・計画について（徳丸）（資料198-8：当日配布）

- 徳丸理事から、従来2段組みであった事業報告・計画を作業簡素化のため段組みなしのワード文書にしたいとの提案があり、了承された。
- 事業報告と計画はWEB上で総会資料として公開するが、その際には報告と計画でそれぞれ1本のPDFにまとめ、各委員会・支部・研究部会へは目次でリンクを張ることになった。
- 本部の事業報告・計画の中に、三河編集委員長がオブザーバとして理事会に出席していることを追記することになった。この三河委員長の追記と前期理事会の189回の報告追加については、前田理事が修正して徳丸理事に連絡することになった。
- 本部の事業報告に、将来構想委員会の検討を行ったことを追記することになった。事業内容については後日、馬野会長が修正案を全員に連絡する。
- 本部の事業計画については、臨時総会をFSS2014の2日目の特別講演前後（表彰式の後など）に予定を入れておくことになった。

(5) 研究グループの事業報告・計画について（徳丸）（資料198-9：当日配布）

- ・徳丸理事から研究グループの事業報告と事業計画について一通り集まったことが報告された。これらの報告と計画は前述のとおり、全体を一本の PDF にして WEB 上で公開することになった。
 - ・事業報告の自己評価、および事業計画の期待される効果については掲載しないことに決まった。
- (6) 学会組織図の見直しについて (徳丸) (資料 198-10)
- ・徳丸理事より、学会組織図の見直しについて審議の提案があった。原稿の組織図の中のモニター委員会を評議会の横並びにすること、理事等推薦委員会も加えること、監事と理事会を横並びにすること、事務局は理事会の下に置くこと、IFSA Federation は破線にすること、委員会と研究グループを入れ替えること、などの意見が出された。これらについては再度、徳丸理事が修正案を提示することになった。
- (7) 本部の予算報告・計画について (井上) (資料 198-11 : 当日配布)
- ・井上理事から、学会の予算報告と計画について現状報告がなされた。前年度の収入は、会費収入、掲載料収入ともに思ったほど増えていないこと、支出は会誌発行関係の請求が遅いため遅れがあること、などが報告された。
- (8) 研究グループの予算報告・計画について (井上) (資料 198-12 : 当日配布)
- ・井上理事から、研究グループの予算報告と計画について現状報告があった。まだ未提出の組織があるので、現時点では確定できていないことも報告された。
 - ・馬野会長からの提案で、拡大事業委員会で、イベントを行う際は事業補助金だけに頼らず、適切な会費収入を設定すること、支部研究部会繰越金を効果的に使うよう促すこと、大きな事業補助金を交付を受けた組織は成果を論文化すること、などを依頼することになった。
- (9) 総会の式次第について (前田) (資料 198-13)
- ・前田理事より、総会について概略式次第の提案があり、会場設営、各理事の役割分担、時間配分、立哨誘導員、などの詳細を議論した。次回の直前の理事会までには詳細予定を確定する。
- (10) 評議会の式次第について (林) (資料 198-14)
- ・林副会長から、次回までに式次第を作って来る旨説明があった。評議会では、評議員長の設置、理事等選出規程の変更、等の説明が必要であることも確認された。
- (11) ソフトロボティクス研究会の昇格申請について (徳丸) (資料 198-15)
- ・本件については承認された。
- (12) 平成 26 年度学会賞選考について (秋山) (資料 198-16)
- ・秋山理事より、学会賞の推薦締め切りを 7 月 10 日に変更したことが報告された。これに伴い、推薦のお願いを 6 月号に掲載することになった。学会ホームページには関理事に掲載を依頼し、学会メーリングリストにも流すことになった。
 - ・学会賞規程の改訂版を早急にホームページ上でもわかりやすくアップする必要があることが指摘された。学会誌の案内にも新規定のホームページアドレスを記載することになった。

4. 次回理事会について

- ・次回理事会は、5 月 31 日 (土) にうめきたナレッジセンターで開催することがすでに確定している。